

みずのわ

学校だより
【第6号】

令和8年8月26日（水）
石巻市立石巻小学校

爽やかな秋風とともに、実りの2学期が始まります

校舎に子供たちの元気な声と輝く笑顔が戻ってきました。大きくなったひまわりに負けないくらいたくましい顔つきや一回り大きくなった背中に、それぞれが充実した夏を過ごしたことがうかがえ、大変うれしく、頼もしくも感じております。雨でパレードの実施が心配されましたが、石巻川開き祭りパレードでは沿道を埋め尽くした保護者の皆様と地域の方々から石巻小学校鼓笛隊への温かい御声援をいただきました。心より感謝いたします。

カレンダーは間もなく9月を迎えます。朝晩の風にほんの少し涼しさが混じり始め、夜にはどこからか虫



の音が聞こえてくるなど、季節は確実に「実りの秋」へと移り変わろうとしています。9月といえば、古くから「長月（ながつき）」と呼ばれ、夜がだんだんと長くなる季節。読書に勤しむもよし、じっくりと学習やスポーツに打ち込むもよし、1年で最も落ち着いて物事に取り組める素晴らしい季節の到来です。

2学期は本校では子供たちの成長を促す大きな行事や取組が予定されています。子供たちが挑む大きな歩みについて、願いを込めながらお伝えいたします。

－教室を飛び出し、本物と出会う「校外学習」への期待－

多くの学年で子供たちが心から楽しみにしている「校外学習」「松島宿泊学習」が実施されます。普段の教室での学習ももちろん大切ですが、教科書では得られない「本物との出会い」があります。豊かな自然に触れ、地域の産業や歴史の現場を肌で感じる。五感の全てを使って学ぶ経験は、子供たちの好奇心を大いに刺激します。同時に、「集団行動」や「公衆道徳」を学ぶ貴重な実践の場でもあります。学校を一步出れば、そこは多様な人々が暮らす社会です。挨拶の仕方、施設のルール、お互いを思いやる声掛けなど、普段学校で学んでいる「きまり」や「マナー」が、実際の社会でどのように役立つのかを学ぶ機会ともなります。

－「新しい自分」に出会うために――学習発表会への挑戦－

そして9月は、秋の風物詩とも言える「学習発表会」に向けた準備が本格的にスタートする時期です。子供たちが「アウトプット（表現）」を通じて、自らの可能性を広げるための教育活動であると捉えています。現代社会では知識を蓄えること（インプット）以上に、自分が考えたことや感じたことを、他者に向けて分かりやすく伝える力（アウトプット）が強く求められています。

－学習の振り返し 次の目標へ－

「意志あるところには道は開ける」。あるテレビドラマの一節ですが、「どうしてもこれを成し遂げたい」という強い気持ちや、目標に向かって進もうとする固い決意（意志）があれば、困難に見える壁でも、必ずそれを乗り越える道は見付かるという意味です。9月は石巻市としても、特に算数に重点を置く予定です。本校でも時程を工夫しながら取組を進めてまいります。

私たち教職員は、子供たちが自らの意志で一步を踏み出せるよう、時に背中を押し、時に隣に寄り添いながら、一人一人の道づくりを応援してまいります。